

公益財団法人 J R西日本あんしん社会財団
2020 年度 事業報告
(2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで)

I 事業概要

2020 年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2020 年度事業計画に掲げた事業について中止や延期を余儀なくされたほか、助成先活動も同様に制限を受けることとなった。しかしながら、安全で安心できる社会の実現に資するべく、主催事業の実施方法を見直すなど感染状況に応じて臨機応変に対応しながら各事業を推進した。

1. 心身のケアに関わる事業

(1) 「いのちのセミナー」の開催

多様な観点から「いのち」を取り上げ、「いのち」について深く考える機会を多くの方に提供することを目的に、年間 6 回の「いのちのセミナー」の開催を計画したが、参加者に高齢者が多く、劇場等でのクラスター発生の事例も踏まえ、年度初からの開催を見合わせた。しかしながら、コロナ禍において「いのち」の重要性が増していること等に鑑み、下期より代替策の検討を重ね、以下の通り開催方法等を変更のうえ実施した。

<第 1 回 開催概要> 「YouTube」による録画配信 ※ 視聴回数：1,056 回

日 時	2020 年 12 月 23 日 (水) ~ 2021 年 3 月 31 日 (水)
演 題	なくしたものとつながる生き方 ~ グリーフを感じるままに ~
講 師	尾角 光美 一般社団法人リヴオン代表

<第 2 回 開催概要> 「YouTube」による録画配信

日 時	2021 年 3 月 23 日 (火) ~ 2021 年 6 月 30 日 (水) (予定)
演 題	繋がりの中で生きる ~ 修験道に学ぶ ~
講 師	田中 利典 総本山金峯山寺長膺・種智院大学客員教授

(2) 「小・中学生『いのち』の作文コンクール」の開催

昨年度に続き、作文を通じて「いのち」の大切さを考える機会を提供するとともに、優れた作品を世の中に発信することで、「いのち」を大切にする「安全で安心できる社会」の風土づくりに繋げていくことを目的として、以下の通り作文コンクールを実施した。

<実施概要>

テ ー マ	あなたにとっての「いのち」
募 集 期 間	2020 年 7 月 1 日 (水) ~ 9 月 11 日 (金)
募 集 対 象	近畿 2 府 4 県 (滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山) に在住・在学の小・中学生
応 募 状 況	5,766 人
表 彰	金賞 (4 人)、銀賞 (10 人) 銅賞 (16 人)、優良賞 (78 人)
表 彰 式	2021 年 1 月 24 日 (日) 14:00~15:30 オンライン (Zoom) にて開催
作 品 集	2021 年 3 月、17 千部発行 ※財団 HP でも公開
選 考 委 員 長 等	委員長：重松清氏 (作家) 副委員長：菊池省三氏 (教育実践研究家)

(3) グリーフケアに関わる人材養成講座への助成（上智大学グリーフケア研究所人材養成講座）

誰もが安心して悲嘆等に伴うこころのケアを受けられる社会を目指し、グリーフケアに関する専門知識・技能を持って実践に携わる人材や地域社会においてグリーフケアを提供する市民ボランティアを養成している上智大学グリーフケア研究所の「グリーフケア人材養成講座」に対し、寄付助成を継続的に行っている。

「グリーフケア人材養成課程（大阪・2年制）」を開講、2020年度は39名が入学し、うち35名が2年次に進級、2019年度に入学した2年次生の24名が課程を修了した。また、日本スピリチュアルケア学会が認定する「臨床スピリチュアルケア師（旧「認定」）」の資格取得を目指すための課程である「資格認定課程（1年制）」には、11名が入学したものの、実習ができず全員が未修了となった。

2. 地域社会の安全構築に関わる事業

(1) 「安全セミナー」の開催中止

例年、自然災害や異常気象に対する「防災・減災」をはじめ幅広い観点から、地域社会の安全について考える機会の提供を目的に「安全セミナー」を開催しているが、人を集めての開催が困難であるとともに、日々変化するコロナ禍において相応しいテーマ設定も難しいことから、開催を見送った。

(2) 「救急フェスタ」の開催中止

例年、救命措置の普及啓発を目的に、JR西日本や消防、関係団体等と連携・協力のうえ、「救急フェスタ」を開催しているが、AED体験や救命措置の的確さを競う「いのちのリレー大会」等では密集・密接状態が不可避であり、代替手段もないことから、開催を見送った。

(3) AED訓練器等の助成による救命処置の普及啓発

救命処置の普及を進めるべく、救命処置の普及啓発活動を積極的に行う団体を公募し、以下の通りAED訓練器・訓練人形を助成した。

	学校	NPO法人	その他	計
応募件数(セット)	2(8)	—(—)	7(30)	9(38)
助成件数(セット)	2(2)	—(—)	7(14)	9(16)

なお、助成期間（3年）終了団体との関係維持や団体同士の交流深度化による活動の活性化などを目的とした活動成果報告会は、コロナ禍での各団体の活動状況等を踏まえ、開催を延期した。

3. 「安全で安心できる社会」の実現に関わる事業

(1) あしなが育英会への助成

あしなが育英会が、事故や災害、病気等様々な理由で親をなくした子どもたちへの心のケア活動の一環として主催している小・中学生を対象とした「キャンプのつどい」に対し、引き続き、寄付助成を行ったが、開催が中止となったため、助成金全額の返還を受けた。

(2) いのちの電話（近畿ブロック7団体）への助成

現代社会を生きる中で深刻な悩みを抱え、助けを必要としている人からの電話相談を行っている「いのちの電話」の相談員のスキルアップやメンタルケア等に関する取り組みに対し、寄付助成を行っているが、引き続き近畿2府4県の7団体に対して助成を行った。また、今年度から、同団体間の連携強化を図るための「いのちの電話近畿ブロック合同研修会」への助成を行った。

(3) 関西遺族会ネットワーク交流会への助成

京阪神に拠点のある遺族会が、個々の遺族会のレベルアップを目指して実施する勉強会を盛り込んだ交流会の開催に対し、助成を行った。

4. 公募助成事業

(1) 2020 年度公募助成（活動及び研究）期間延長の特例措置の実施

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2020 年度の公募助成については、申請時にはコロナ禍で活動や研究が大きな制約を受けた。計画策定時点からは想定しえない事態であったことから、2021 年 9 月 5 日まで助成期間を延長可能とする特例措置を講じ、申請があり、且つ当財団で妥当と認めた 32 の団体及び研究者に対し、当該特例措置を適用した。

(2) 「2021 年度公募助成（活動及び研究）」の実施（募集、審査、決定）

当財団では、設立初年度より、事故・災害に対する備えやその後のケアに関連する活動・研究を対象とした公募助成を実施している。

今年度は、2021 年度に行われる活動や研究を対象とした助成事業について、公募を実施した。応募のあった 123 件について審査した結果、57 件、4,154 万円の助成を行った。採択率については 46%となった。

なお、例年 3 月に実施している、採択された団体や研究者を対象とする贈呈式は、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大等に伴い中止した。

<応募・助成状況>

	応募件数	助成件数	金額
活動助成	49 件	33 件	1,964 万円
活動助成（特別枠）	33 件	17 件	1,066 万円
研究助成	41 件	7 件	1,124 万円
計	123 件	57 件	4,154 万円

(3) 第 10 回公募助成成果発表会

助成活動の成果の社会的還元や助成先同士の交流などを目的に、2019 年度に実施された助成活動及び研究の成果発表を行う「成果発表会」を開催した。

<開催概要>

日 時：2020 年 12 月 7 日（月） 13 時 30 分～15 時 30 分

場 所：オンライン（Zoom）にて開催

発表者：5 団体、2 研究者

参加者：36 団体 43 名、当財団役員・委員 9 名 ※アクセス者数

II 財団運営に関わる事項

1. 機関運営（評議員会、理事会、事業審査評価委員会等の開催）

(1) 評議員会

開催回数：1回（書面開催）

決議事項等：2019年度計算書類等の承認、評議員の選任、監事の選任

(2) 理事会

開催回数：4回（うち、書面開催2回）

決議事項等：業務執行状況報告のほか、以下の事項について決議を行った。

2019年度事業報告及び計算書類等の承認、評議員会の招集、「救急フェスタ」の事業変更申請の承認、2020年度収支予算の変更の承認①、2020年度「いのちの電話」合同研修会への助成の承認、2020年度公募助成の期間延長の承認、2020年度収支予算の変更の承認②、2021年度公募助成（活動及び研究）の採択決定の承認、2021年度「上智学院、いのちの電話」への助成の承認、2021年度AED訓練器等助成事業における採択決定の承認、2021年度基本財産の運用基本方針の承認、2021年度事業計画及び収支予算の承認、2022年度公募助成（活動及び研究）の基本方針の承認、2022年度AED訓練器等助成事業の基本方針の承認、未実施事業廃止の申請等の承認、重要な使用人（事務局長）の解任・選任

(3) 事業審査評価委員会

開催回数：4回（うち、書面開催1回）

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

2019年度事業報告（案）、2019年度助成事業の実績・成果等の確認・評価、2021年度公募助成の内容及び方法に関する指導・助言、2020年度公募助成の助成金の使用期間の延長措置、2020年度助成先の審査、2020年度公募助成期間延長申請の審査、2021年度公募助成（活動及び研究）の審査、2021年度助成先の審査、2021年度事業計画（案）に対する指導・助言

(4) AED訓練器等助成事業審査委員会

開催回数：2回

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

2019年度AED訓練器等助成事業における実績・成果等の確認・評価、2021年度AED訓練器等助成事業の内容及び方法に関する指導・助言、2021年度AED訓練器等助成事業の審査、活動成果報告会の開催

2. その他

(1) 基本財産の運用

基本財産20億円は、西日本旅客鉄道株式会社の無担保社債（20年物）により10億円、国債（20年物）により10億円を継続して運用した。

(2) 広報活動及び情報公開

当財団のホームページにおいて、財務資料等の基本情報の開示や財団事業の実施概要、実施結果等の公表を行った。また、事業実施時におけるプレス発表のほか、JR主要駅へのポスター・パンフレットの掲出、財団紹介用パンフレットの製作・配布、広報誌「R e l i e f」の発行（2020年4月、9月、2021年1月）、日本AED財団が作成し小学校に配布する心肺蘇生法副読本への協賛に加え、「いのちの作文コンクール」の実施にあたっては、学校への広報を行ったほか、作品集を製作し、参加校並びに地域の図書館等へ配布するなど、財団事業の認知度向上のための広報活動を実施した。

(3) 報道実績

- ・「いのち」の作文・俳句コンクール表彰式 …………… 神戸新聞（4/4・朝刊）
- ・「いのち」の作文コンクール作品募集 …………… 大阪日日新聞（6/13・日刊）、
産経新聞（6/13・朝刊・北摂版）
- ・「2021年度公募助成」募集 …………… 大阪日日新聞（9/13・日刊）
- ・「2021年度AED訓練器等助成」募集 …………… 大阪日日新聞（9/23・日刊）
- ・「2021年度公募助成（特別枠）」募集 …………… 山陽新聞（10/20・朝刊）
- ・「2020年度「小・中学生『いのち』の作文コンクール」受賞者決定 …… 奈良新聞（1/20・朝刊）
- ・「いのちのセミナー（尾角光美氏）」の概要紹介 …… 大阪日日新聞（1/23・日刊）コラム
- ・「2021年度公募助成57件」決定 …………… 大阪日日新聞（3/17・日刊）
- ・「2021年度AED訓練器助成」決定 …………… 大阪日日新聞（3/23・日刊）